

# 意識調査の実施概要

連合では2013年5月27日・28日に「働く女性のための労働相談」を実施するにあたり、このたび「マタニティ・ハラスメント」の当事者の認識・事態を把握するためのインターネット調査を行いました。これは、労働相談に寄せられる、悩みをお持ちの個々の「働く女性」の問題解決だけに留まらず、女性が妊娠・出産を経験しながらも働き続けられることが日常になるためには、環境整備や意識変革と啓蒙が必要であるということから、その実態を調査し、社会のみなさまに共有することが、周知の一助になると考えたからです。

- 実施期間 : 2013年5月13日～5月15日
- 母集団 : 全国在住の現在在職中の20代～40代の女性626名  
(うち妊娠経験なし310名、お子さんがいる場合は12歳以下の方が対象)
- 手法 : インターネット調査
- 調査媒体 : 株式会社マクロミル
- 調査協力 : エポックシード株式会社

## ▼妊娠経験と現在雇用形態 (n=626)

※非正規社員＝派遣社員・契約社員・パート・アルバイト  
フリーランス(自由業)

妊娠経験に関して	正規社員	非正規社員
在職中の妊娠経験なし	178	132
在職中かつ妊娠中	28	28
在職中の妊娠経験あり	147	113

## ▼年齢 (n=626)

